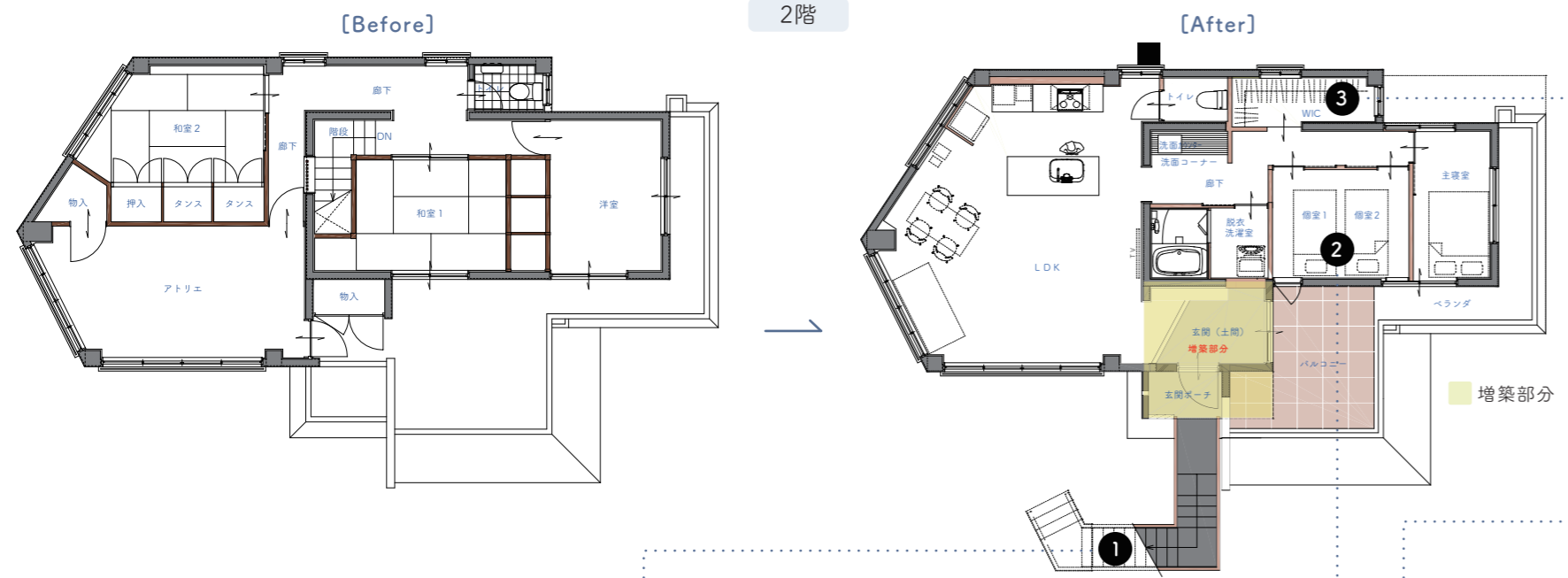


二世帯住宅のハテナがわかる。

OTONA:Re

TIMES



完全分離型

建物種別 一戸建て
間取り [2階]2LDK
施工箇所 2階
施工面積 82.33㎡(約25坪)
うち増築5.72㎡(約1.3坪)
築年数 33年
構造 鉄筋コンクリート造2階建て
工期 6か月
施工費用 2,370万円
リフォーム内容 解体工事、増築工事、木工事、内装工事、電気工事、設備工事、塗装工事、サッシ工事、タイル工事、etc.



1 外階段

完全分離型にするにあたり、鉄骨造の外階段を新設。
1階親世帯の玄関との動線をわけ、プライベートを保ちつつ、1階からも2階からも庭の緑が楽しめる配置に。



2 将来2つに仕切れる子供部屋

子ども室と寝室は、ベッドが置ける程度の広さに限定。子ども部屋(写真右手)は現在、家族全員で寝る寝室として活用。将来2部屋に仕切れるように、出入口、窓、照明を設けている。廊下の突き当たりが寝室。



3 生活感を隠しやすい収納

二世帯ならではの急な来客にも困らないように、生活感の隠しやすい収納エリアは見えない位置や隠せる工夫を。

構造壁生かし
リノベーション

佐平ならではの こだわった家づくり



設計担当 田場裕

Mさまご家族の居住スペースとなる2階は、建物を支える構造上、壊せない壁があり、間取り変更を伴うリノベーションが難しい造りでした。ご夫妻は「リビングを広く、個室は必要最低限の広さで」とのご希望でしたので、構造壁を境にLDKとプライベート空間を区分け。躯体を支える力を削がない範囲で構造壁に開口を設け、公私の空間をつなぐプランをご提案しました。
内階段はふさいで床を張り、洗面室と浴室を配置。リビングと個室の間に水回りをまとめることで、スムーズな家事・生活動線を確保しました。
完全分離型という選択で、鉄骨製の外階段を新設。南東側に1.7坪(3.5帖)増築し、2階の玄関とタイル張りのバルコニーを新たに設けました。LDKの天井高を確保するため梁を露出させましたが、木目調のクロスを張り、統一感のある雰囲気仕上げました。
リフォーム成功のポイントは、将来のライフプランを見据えて、部屋の広さや仕上げの優先順位をつけること。こだわる部分に予算を配分できるように一緒に考え、ご提案します。



施工主 M様



親世帯お父様

VOICE

オシャレでインテリアに強い 安心感と親身さが決め手に

二世帯リフォームを手掛ける会社を調べる中で、佐平建設のWebサイトを見つけました。どの物件のインテリアもおしゃれで、「希望の空間を実現できる」と思い連絡。契約前の打ち合わせで提案いただいた間取りや見積金額、会社の規模、親身に安心感を得ました。インテリアコーディネーターがついて提案してくれる点も、決め手でした。使えるものは残して、こだわりたい部分に予算をまわす。私たちのやりたいことを実現できる方法を一緒に考え、親身に提案してくれたおかげでつくる過程も楽しく、理想の家ができました。

完全分離にして、自分たちの生活スタイルを保てるのが一番良かった。外階段も庭を使えるように設けてくれたので、塀との間のスキマにも妻が挿し木で増やした鉢植えを並べ、リフォーム前より緑が増えました。息子夫婦、孫と暮らせて幸せです。

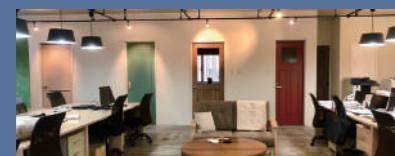


子どもが伸び伸び育つ 二世帯住宅

「お家のStyleは」



完全分離型



お問い合わせ

電話 098-851-8352(代表)
FAX 098-851-8353
営業時間 8:30~17:30(土日祝除く)



佐平建設の二世帯住宅
OTONA:Re
https://otona-re.com/

沖縄二世帯リフォーム





LIVING





子どもの成長に合わせて 変化する広々リビング

「いろいろな遊び、使い方ができるよう、リビングは最大限広く」とMさん。リビングは広さ23帖。活発になった長女のために、上り棒の取り付けを検討中。将来は、窓際に学習用のカウンターを設ける計画です。「家族が起きてから寝るまで、ずっと一緒に過ごせるリビング。子どもの成長に合わせて、必要なものをカスタマイズできるのも楽しみです」。キッチン、親子で料理が楽しめるようアイランド型を選択。「家族全員で立っても広々使える長さ、通路幅にこだわりました」。見せたくないものは隠せるように、背面収納を造作。水回りがきれいに保てます。

Number 03 ライフスタイルを 尊重し合うおうち

DATA

- Family
M邸
1階 ご両親 
2階 ご夫婦 お子様2人 
- Erea/House type
南風原町/一戸建て



子どもが駆け回れる家を

築33年になる実家の2階をリフォームし、二世帯住宅を実現したMさん一家。実家から車で15分ほどのアパートで暮らしていましたが、下の階へ響く足音を気にして、長女が走り回るのを制限する毎日。「子どもが自由に遊べ、自分たちも気兼ねなく過ごせる家が欲しくて、戸建てを検討。完成までの時間と費用を新築と比較して、スピード感を持って実現できる二世帯リフォームを選びました」
ご両親と仲の良いMさん。二世帯住宅は、結婚当初から住まいの選択肢にあったそう。2階には寝室と子ども部屋、書斎の4部屋があり、Mさんと姉が巣立った後は、ご両親それぞれが寝室と書斎として使っていました。
二世帯住宅の相談を受けたお父さまは、「私たちの生活ペースを守り、お互いに干渉しない条件で了承しました。子どもの世話にはならないと思っているけど、できることはやってあげたい。改修費用は全額、息子が出すと言うので任せました」と話す。

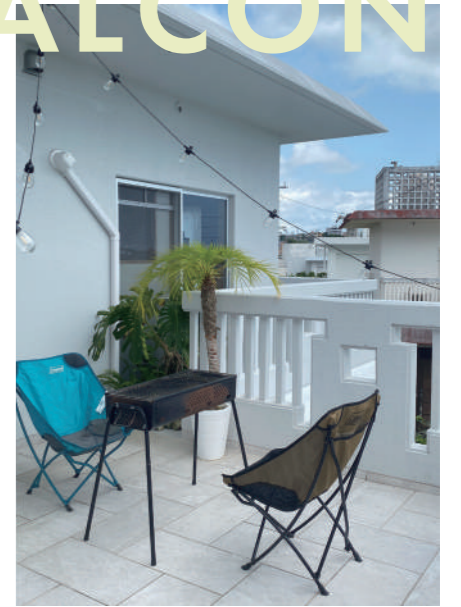
家族、友人との交流密に。両親に感謝

両世帯で選択したのは「完全分離型」の二世帯住宅。増築で2階専用の玄関と外階段を新設しました。Mさん一家が暮らす2階のリフォームは、リビングでの集いを重視してLDKは広く、個室はミニマムに。既存の内階段をふさいで水回りを設け、空間を有効活用しています。
インテリアは、古材風の木目を生かした南国リゾートにこだわり、「夫婦で夜な夜な話をしながら、建材選び。造る過程が楽しかった」と夫妻。友人を招く機会も増えて、よりにぎやかに。次女にも恵まれ、「つわりがひどい時期や病気をした時は、長女の送迎や食事をサポートしてくれて、お父さん、お母さんには感謝しかない」と奥さま。
ご両親にとっては、孫の登園の見送りやお世話が日々の楽しみ。お父さまは「2階からかすかに聞こえる足音が気持ちいい。今度は孫が初めて歩く瞬間が見られるかな」と笑顔。花づくりが趣味というお母さまのおかげで、庭は緑いっぱい。「長女は、花の名前をいろいろ覚えて楽しそう」。ご近所との交流も活発で、祖父母や地域との触れ合いで、新たな体験も育まれています。

家族時間が充実！ 増築で実現した 広々玄関とバルコニー

Mさん宅は、1階の親世帯、2階のMさん世帯の居住空間を完全に分けた「完全分離型」。既存の室内階段を閉じ、増築で新たに2階専用の玄関と外階段を設けました。家族時間を充実させるため、夫妻は「BBQや水遊びができるバルコニー」を希望。タイル貼りのバルコニーへは、玄関土間から直接アクセス可能。「リビングからバルコニーの様子が見えるから安心。ミニトマトとお米を育て始めましたが、水かけも楽にできます」と奥さま。増築により室内外がつながり、お子さんがさまざまな体験ができる環境が増えました。

BALCONY



広くて開放的な土間玄関は、こだわりの玄関ドアや照明と合わせて靴やインテリアアイテムが綺麗に収納されて出迎えてくれる。

新たにタイルを張ってデザイン・メンテナンス性UP。旦那さまが取り付けたストリングライトで昼夜問わずお家アウトドアを楽しんでいるそう。

PRIVATE



プライベート空間は 機能的かつおしゃれに

二世帯住宅で重視したいのが、生活感を感じさせない公私の空間分けと収納です。Mさん宅は、内階段をふさいだ場所に設けた水回りを挟んでLDKとプライベート空間に分かれています。「洗面所がリビングの側にあるので、娘に呼ばれてもすぐに対応できて便利」と奥さま。一方、LDKからは、水回りを抜けた奥にある個室やファミリークローゼットはまったく見えません。

1. 構造壁、内階段を活用した最強の水回り

内階段のあった部分に床を張り、洗面室と浴室を配置。洗面室を抜けた先(写真奥、左手)に個室とファミリークローゼットがある。構造壁の一部を抜いた開口部からLDKと行き来できる造りで、お子さん見守りもスムーズ。

2. 計算し尽くされた壁面収納

洗面所の壁面収納。置き場所に悩むティッシュの固定スペースが設けられ、棚下から1枚ずつ引き出せる。洗面台脇の丸穴の下には、ゴミ箱が収まるよう計画。スマートに片付け仕組みは奥さまのアイデア。

3. ペンダントライトでシックなトイレ

トイレはLDKの近く。淡いグレーの壁にタイル調のフロアシート、丸い暖かみのあるペンダントライトでおしゃれ度アップ。

4. 壁紙で華やかさファミリークローゼット

子ども室の向かいにあるクローゼットは、家族分の衣類と小物、家電などもたっぷり収納できる。廊下から見える家事台前の壁は、アクセントクロスで華やかさをプラス。クローゼット内は、造作の棚とハンガーポールに市販のボックス収納を組み合わせて、壁面も活用して収納量を確保。